

第七十五回 卒業式 式辞

草平小学校を巣立ちゆく五十一名の六年生のみなさん。ご卒業おめでとうございます。

今日の天気予報は「曇りのち雨」です。しかし、一雨ごとに春に近づくこの時期の雨を、「催花雨（さいかう）」と言い、花を開花させるための恵みの雨を意味します。漢字で表すと、「催し物」とか「開催する」とかで使用する「催」という字に、花の雨と書きます。

まさに、今日降る雨は、みなさんが進学先で花を咲かせるための「催花雨」だと思います。

みなさんが草平小学校で高学年として過ごした二年間は、未知のウイルスである新型コロナウイルスとの戦いの二年間でした。昨年度は、年度初めの臨時休業。運動会も宿泊を伴う野外活動も実施できませんでした。今日の卒業式のしおりの学校行事の欄を見ていて、本当に行事を行うことが難しかった一

年であったことを改めて感じました。

しかし、令和三年度は、感染拡大防止対策をしながら、今までと同じことはできなくても、コロナ禍でどうしたらより楽しく、充実した学校生活を送ることができるのかを、先生もみなさんも考えられるようになりました。

また、コロナ禍だったからこそ一気に加速したGIGAスクール構想。一人一台タブレットが導入され、授業や学校生活のあらゆる場面でタブレットの活用が進みました。全校児童が集まることができなくても、朝礼や児童会選挙、保健集会、六年生を送る会等、様々なことをリモートで行えるようになりました。

感染状況が少し落ち着いた秋には、二年ぶりの運動会、学習成果発表会、社会見学、そして二度の延期の末に実現した宿泊を伴う修学旅行を行うことができました。特に修学旅行では、みなさんのマスク越しの笑顔がた

くさん見られ、先生もとても嬉しかったです。

また、二回ですが全校が体育館に集まって朝礼も行いました。

コロナを経験したことで、みなさんには「できないことに目を向けるのではなく、できることに目を向け、工夫して取り組む力」が身に付いたと感じます。

四月から中学生になるみなさんに、二つだけ先生からお話をしたいと思います。

毎年伝えていることですが、『自分で考え、判断し、行動できる人になって欲しい』ということです。

みなさんの人生は、誰のものでもない自分だけの人生です。これから先、様々な場面で考え、判断し、行動する。その繰り返しが続いていきます。その時に、「友達に誘われたから」「親に勧められたから」と「自分以外の人」を軸にして判断しないでください。それは、うまくいかなかったときに人のせいにしたり、言い訳をしたりする人生になるからです。でも、いくら人のせいにしても、言い

訳をしても、その結果は自分自身の人生に影響するのです。だからこそ、常に「自分はど
うしたいのか」「自分がどうなりたいたいのか」
と「自分」を軸にして考え、判断し、そして
行動することが大切なのです。そうすれば、
例え失敗したとしても、何がいけなかったの
かを反省し、もう一度見直し、切り替えて、
再び前に進むことができるでしょう。

そしてもう一つは、先日の特別授業でもお
話した『周りへの感謝の気持ちを忘れない』
ということです。人は一人で生きていく
ことはできません。みなさんは、生まれてか
ら今日まで、お母さんやお父さんはもちろん、
家族、先生、友達などたくさんの人の支えが
あって今ここにいます。日頃の生活の中で、
たくさんの人から優しさや愛情をもらって
います。それらのことに、素直に「ありがと
う」という感謝の気持ちをもち、伝えること
ができれば、きっとあなたが困ったときには
周りの人が助けてくれると思います。

卒業式が終わったら、まず担任の先生と保

護者の方に感謝の気持ちを伝えましょう。

そして、中学校に進学してからも、周りの人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、しっかりと前を向いて進んでほしいと願っています。

保護者のみなさま、本日はお子様のご卒業、誠におめでとうございます。

来賓も在校生もいない三度度目の卒業式となりました。それでも、こうして保護者の方に見守っていただき卒業式ができることを幸せに感じます。

在校生は参列していませんが、校舎の渡りの壁面いっぱい、六年生へのメッセージが飾られ、お祝いをしています。

そして何よりも、卒業証書を受け取る子どもたちの背筋がまっすぐに伸びた姿、凛とした表情からは、中学校生活への新たな一歩を踏み出そうとする強い気持ちが伝わってきました。

六年間の小学校生活で大きく成長したその姿に、保護者のみなさまも感無量かと思ひ

ます。

お子さまが思春期真っただ中になるこれからの子育ては、これまでとはまた違ったご苦勞もあるかと思います。それでも、程よい距離感を取りながら、これまでと変わらぬ大きな愛情で、しっかりと自立できるよう、支えていただけたらと思います。

私事になりますが、私もこの三月をもちまして三十七年間の教員生活を卒業します。

四年間の学校経営に、そして六年間の本校の教育に対して、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

卒業生のみなさん。みなさんの中には、「新型コロナウイルスがこれからどうなるのか」「ロシアのウクライナ侵攻がどのように世界に影響するのか」など、先が見えず不安を感じている人もいるかもしれません。

しかし、この歴史ある草平小学校で過ごした六年間で培った「生きる力」をさらに伸ば

し、変化する世の中を柔軟に生き抜くたくま
しさを身に付けて行ってほしいと思います。
そして、自分らしい人生を切り拓き、力強く
歩んで行きましょう。

皆さんの未来が希望に満ちたものになる
ことを心からお祈りし、私の最後の式辞とい
たします。

令和四年三月十八日

愛西市立草平小学校長

小 島 美 保